

# あしや

## 広報

さまざまな体験を通して  
伸びゆく心とからだ  
学校園だよ

# 教育のページ

このページの問い合わせは  
学校教育課 ☎38-2087)へ

楽しかった一学期。子どもたちは多くの人と出会い、自然に触れ、心豊かに生きる力を培いました。



第20回芦屋サマーカーニバルが開催されました  
8月2日(日)、芦屋サマーカーニバルが今春まちびらきした南芦屋浜地区で開催され、過去最高の約13万人が訪れました。夜には花火大会が開催され、1,335発の花火が真夏の夜空を彩りました。

1998年(平成10年)8月15日号

No.754

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)  
☎0797-31-2121  
〒659-8501  
兵庫県芦屋市精進町7番6号  
ホームページ  
http://www.city.ashiya.hyogo.jp/  
メールアドレス  
info@city.ashiya.hyogo.jp

地震や台風など、自然災害の発生そのものを防ぐことはできませんが、日ごろからの訓練・備えで、被害を最小限に抑止することはできます。

今回の訓練は、阪神・淡路大震災の教訓を生かし、市民および防災関係機関が初めて震災以降の緊密な連携協力のもとに行う総合訓練です。ぜひ、見学にお越しください。

なお、この訓練には巡視艇やヘリ

### 防災総合訓練のお知らせ

問い合わせ 防災対策課 ☎2093

コンピューター等が参加して、救助訓練や消火訓練などを行います。周辺の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、訓練区域での船舶等のご注意とご協力をお願いします。

日時 8月28日(金)(雨天決行)  
午後1時30分~4時30分  
会場 海洋町南東部



会場案内図



消火訓練の様子

10月25日(日)兵庫県知事選挙

### コピー、マスコットキャラクターを募集します

知事選挙の啓発や明るい選挙の推進をテーマにしたコピー(キャッチフレーズや標語)とマスコットキャラクター(愛称を含む)を募集します。

応募資格 県内在住(は不問)  
応募方法 はがきかはがき大の紙を使用 A4白色用紙を使用。彩色は自由。作品裏面に、説明、愛称を記載。いずれも住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業(学校名)、電話番号を明記し県選挙管理委員会に8月28日(金)までに郵送または持参。  
応募先 兵庫県選挙管理委員会  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1  
☎078-341-7711 内線2515

第18回 参議院議員選挙投票率 市としては県下第2位の60.72%

明るい選挙推進協議会とともに「投票総参加」を皆さんに呼びかけると同時に、不在者投票をしやすいように投票場を市役所北館1階ロビーに変更し、各投票所にはBGMを流すなど、環境整備に努めました。今後も投票しやすく、環境整備に努めます。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100

### 人間ドック検査料助成の受け付け

問い合わせ 保険年金課保険係 ☎38-2035

助成内容 芦屋病院の一日人間ドックコース  
平成十年度検査料三万八千円のうち七割(二万六千六百円)を市が負担します。個人の負担額は一万二千四百円となります。

対象者 次のいずれにも該当するかた。  
申請時に、一年以上継続して芦屋市の国民健康保険に加入されているかた。  
平成十年四月日現在の年齢が三十五歳以上のかた

申請時に、保険料の未納がないか  
平成十年度内に、本制度の助成を受けていないかた

検査日 平成十年十月二日(金)から十一月二十九日(月)までの月曜日と金曜日(祝日除く)定員 各曜日四人まで。(一般)検査料助成のない人の受け付けが、あれば減額されます。先着順。

受付日 九月一日(火)から(土・日・祝日を除く)申し込み 国民健康保険証、印鑑を持って保険係窓口までお越しください。

### 海浜公園プールのオープン 市長からのメッセージ

33

さわやかなスポーツでした。午後からは音楽ゲーム、夜店、そして約千三百発の花火が夏の夜を彩る楽しい一日でした。姉妹都市モンテペロ市からの交換学生のお二人も浴衣姿で友好の輪に溶け込み、お祭りが家族、友人、そして人と人の交流を促すことを感じました。暑い中、サマーカーニバルを主催していただいた実行委員会に厚くお礼を申し上げます。

さて、大変暑い日が続いてありますが、七月から海浜公園プールがオープンし、涼を求める多くの市民の皆さまにご利用をいただいています。今年は朝日ヶ丘町の市民プールとともに二つのプールが市民の皆さんをお待ちしています。

今年オープンした海浜公園プールは震災で使用不可能となりましたが、五十メートルプールは市が改修し、子供用プールと管理棟があった敷地には財団法人フルーシー・アンド・グリーンランド財団(B&G財団)により二五メートル温水プールと子供用プール、トレーニング室などを併設する芦屋海洋センターを新たに建設していただきました。

海洋センターの建設総工費は九億九千万円です。B&G財団の拠出金限度額は一施設五億円ですが、被災を受けた自治体への支援として、また芦屋という環境に配慮していただき、従来の限度額をはるかにオーバーする、九億円を拠出していただきました。B&G財団のご支援に心から感謝申し上げます。

七月一日開園の海浜公園プールの利用人員は約一万五千人でした。夏本番の今また、九月からは、屋内温水プールとして一年中利用できますので、健康保持・増進のため活用いただきたいと思います。プールでお楽しみください。

芦屋市長 北村 春江



一緒にこま回しを楽しむ

### 楽しかった七夕まつり

#### 浜風幼稚園

毎年七月七日の七夕まつりの日には、園児の祖父母を幼稚園にお招きして、「一緒に歌を歌ったり遊びを見ていただいたりして、楽しいひとときを過ごしています。」

今年の春は、雨が多かったせいかな、園児の祖父母を幼稚園にお招きして、「一緒に歌を歌ったり遊びを見ていただいたりして、楽しいひとときを過ごしています。」

例年比べて裏庭のタケノコがたくさん顔をだし、大きく生長したので幼稚園の竹を使って、七夕飾りを作ることができました。

大好きな折り紙で、輪つなぎや三角つなぎ、貝の飾りなどを作り、短冊にお願いを書きました。「大きくなったら、サッカーの選手になりたい」「ケキやさんになれよう」「おあささんはおまわりさん」「おあささんはママさん」と母親の年齢がわかっているという短冊や、「やせたい」という保護者の切実な願いなどもありました。

浜風幼稚園では大半の園児が高層マンションに住んでいて、おじいさんやおばあさん(同居している家庭が少なく)といふこともあり、七夕の行事は、園での様子を見ていただく貴重な機会として、園児にとっても祖父母にとっても、楽しみな行事となっております。今年も園児八十四人に対し七十七人の祖父母の参観者があり、中には昔とった杵柄かて

~心と体に栄養を~  
**第12回 芦屋市学校給食展 『カム・カム・カミング』**

毎年秋に行っていた学校給食展を今年は夏休みに行います。今年のテーマは『カム・カム・カミング』 かわむことの効用です。みなさんで楽しんでください。

日時 8月26日(水)~28日(金)  
午前11時30分~午後4時(28日は午後3時まで)  
会場 市民センター多目的ホール、301室  
内容 学校給食・栄養・食生活のパネル展示  
児童作品  
試食コーナー  
(試食は11時30分からです、数量に限りがあります。)



学校給食展のポスター  
宮川小学校4年 道満優里さん



以前の給食展の様子



楽しそうに田植えをする児童たち

### 田植えに挑戦!

#### 岩園小学校

五年生は、社会科の体験学習として、三田市の農園で田植えに挑戦しました。社会科で「日本の米づくし」を勉強していくうちに、実際に田植えを体験し、農家のおじさんに話を聞いて勉強することになったのです。児童たちは、田植えに行くまでは、田んぼに虫はいないか、気持ち悪くはないかと、楽しさより心配事や先に立っている様子でした。

いよいよ、五月二十五日(月)、田植えをする日が来ました。朝からあいにくの雨模様で、バスに乗る時

には本場に田植えができるか不安になりましたが、三田市に響くと、雨も上がって田植えに最適な天気になりました。

まず、大塚神社の境内にある集会所で、農家のおじさんに三田市の米作りの今昔について話を聞き、タイヤが自分の身長より大きいコンパイロンやトラクター、田植え機に乗せてもらいました。

その後、田んぼに入り、おじさんに教えてもらいながら、苗を植えていきました。「きやー、又ル又ルしてさ」「わあー、虫がいる。あちこちで、楽しそうな悲鳴があがります。腰が痛くなるほどかんで、たくさんの苗を植えました。最初は恐る恐る足を動かして田んぼを歩い

ていた児童も、すぐに慣れてうれしそうに走り回っています。秋には大きく育ち、たくさんの稲穂を付けていることでしょう。実りの秋が今から楽しみです。

### みんなとまち

#### 岩園幼稚園

岩園幼稚園は、年少、年長ともに「クラス」の規模が小さいです。その利点を生かして年少児と年長児が互いに交流できる保育を進めています。

年少児は年長児の遊んでいる様子にあこがれ、一緒に遊んでほしいと思ったり、同じようにまねたり、同じように遊んでみたいという姿が見たりします。また、年長児は年少児のしている活動を「かわいい!」「がんばって」と声をかけたり、泣いている子を優しく抱いたりしています。

よく晴れた五月、全園児が一緒に戸外遊びをしました。こどもの日にちなんで、みんなが元気に過ごせるようにと、こいのぼりを泳がせました。「おあささん、こいのぼりさーん」と呼ぶ年少児にこたえて、年長児が大きな口を風になびかせてお母

さん、こいのぼりさんを泳がせてくれます。年少児は、「大きな口だね」「長いねえ」とこいのぼりと同じようにおききな口を開けて、泳いでくるこいのぼりを眺めていました。その後みんなが青空にあげ、元気一杯遊びました。

そのほか、いたるところで年少児と年長児の交流が生まれます。「大きい組さん、竹馬上手だね」「僕たちも大きい組になると出来るかな」と年少児。

「ダンゴ虫は葉っぱの下にいるよ」「私が見つけてあげるからね」と年長児のお姉さん。

ささやかな心の通い、相手を思いやる気持ちの芽生えを大切にしながら、二年保育の良さを改めて実感しています。



こいのぼりを泳がせる年長児たち

